

第四次熊本県社協総合計画の中間評価について

去る12月20日(水)に開催した第4回理事会並びに第2回評議員会において承認されました第四次県社協総合計画の中間評価については、以下のとおりです。

第四次県社協総合計画は、「くまもとの『ふだんのくらしのしあわせ』を協働でつくります」とした基本理念と、この理念の実現に向けて進むべき方向性として定められた4つの基本方針のもと、平成27年度から31年度までの5年間に県社協が推進する取組みを策定したものです。

平成29年度はその中間年度にあたることから、計画を着実に遂行しているか進捗状況を確認するとともに、計画全体の評価を実施し、必要に応じて計画の変更等を行いました。

各推進項目中、具体的な数値目標を設定している項目としていない項目とで、各々実施状況や進捗率により「達成」、「順調」、「不十分」、「未実施」の用語を用いて評価を行いました。全部で138項目ある評価項目の総合的な評価結果は、「達成」が12項目(9%)、「順調」が85項目(61%)、「不十分」が32項目(23%)、「未実施」が9項目(7%)となりました。

熊本地震の影響により平成28年度のみ評価が低くなった項目もありますが、第四次県社協総合計画は、この2年間概ね順調に推進できたものと判断されます。一方で、今回の中間評価で明らかになった課題等については、確実に改善を行い、今後も県社協の基本理念の実現に向け、取り組んでいきます。

九州社会福祉協議会連合会理事会を開催

1月31日(水)、K K Rホテル熊本で、九州社会福祉協議会連合会理事会を開催し、①平成29年度事業報告(中間報告)、②平成29年度収支決算(見込み)、③平成30年度事業計画(案)、④平成30年度収支予算(案)の4つの議題が審議され、承認されました。



【九州連理事会の様子】

また、近年、甚大な被害をもたらしている大規模災害が相次いでおり、各応援社協の支援期間が長期化すればするほど自費での経費負担が大きくなるので、被災地支援を行う社協のための基金等を全社協に設置していただけないかなどの意見が出されました。



【全社協 渋谷常務理事】

また、審議終了後には全社協常務理事の渋谷篤男氏から、「『地域共生社会』と社会福祉法人」をテーマに中央情勢の報告があり、法律の規程の解釈をもとにして、地域共生社会の実現を目指していくうえでの社会福祉法人の役割、考え方などについてお話しいただきました。

「第11回火の国ボランティアフェスティバル上益城・熊本市」 9月29日・30日に開催!

1月26日(金)、国際交流会館で「第11回火の国ボランティアフェスティバル上益城・熊本市」の第1回実行委員会が開催されました。

委員会では、会長に大西熊本市長、副会長に藤木御船町長、荒木嘉島町長、西村益城町長、奥名甲佐町長、梅田山都町長、熊本市社協の潮谷会長の6名、監事に御船町社協の本山会長、益城町社協の宮本会長の2名がそれぞれ選出されました。また、運営委員会設置要綱や予算等も承認されました。

今回のフェスティバルは、本年9月29日(土)、30日(日)の両日、市民会館シアーズホーム夢ホールをメイン会場として開催されますので、ぜひご参加ください。



【実行委員会委員の皆様】

適切な監事監査を実践するための知識や実務を修得する ～市町村社協監事等研修会～



【立石 公認会計士】

1月31日(水)、県総合福祉センターで「市町村社協監事等研修会」を開催し、市町村社協の監事等77名が参加しました。

本研修会は、理事の職務執行状況や法人の財産状況の監査を行うなど、社会福祉法人において重責を担う監事が、適切な監事監査を実践するうえで必要な知識や実務を修得するために、今年度新たに開催しました。

講師には、本会の経営相談事業の専門相談員で公認会計士の立石和裕氏を招き、「社会福祉法人制度改革を踏まえた、監事の役割と監事監査の実務について」と題して、監事の権限と責任、社会福祉法人の適切な内部統制の監査、会計監査のポイントなどについてご講義いただきました。

介護支援専門員実務研修が始まる

今年度の介護支援専門員実務研修受講試験の合格者465名等を対象とする標記研修が、1月11日(木)からKKRホテル熊本で始まりまし

ました。厚生労働省が定めた研修カリキュラムは87時間となっており、1月から5月までの期間で15日間実施します。

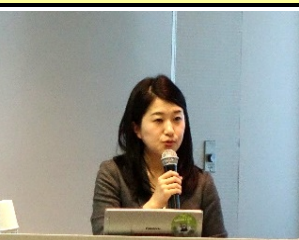
また、前期(8日間)と後期(7日間)の間に、受講者が協力事業所に向き、実習現場でのケアマネジメントプロセスの経験を通じて、実践に当たっての留意点等を学ぶ見学・観察実習(3日間程度)と、居宅サービス計画書を作成する模擬プラン作成実習も行います。

なお、本研修修了後、県に登録申請を行い、登録後に初めて介護支援専門員として実働することができます。



【研修中の受講者】

社会的包摂にむけた福祉教育プログラムを考える ～福祉教育推進研究会議～



【全社協 大場尚子氏】

1月12日(金)、県総合福祉センターで福祉教育推進研究会議を開催し、社協職員25名が参加しました。

講師に全社協全国ボランティア・市民活動振興センターの大場尚子氏を招き、「社会的包摂にむけた福祉教育の推進とこれから」と題してご講義いただきました。大場氏は、生活困窮者支援が急務となっている中で、その根底には社会的孤立があり、それを解消していくためには排除しない社会を目指した社会的包摂にむけた福祉教育が必要だと話され、具体的にICF(国際生活機能分類)の視点やサービスラーニングの手法などを取り入れた実践事例を紹介されました。

実践事例発表では、山鹿市社協の徳永美咲氏が「子どもボランティアリーダー養成講座」について、小国町社協の村上隼也氏が「チャレンジ小国GO!」について、菊池市社協の日置治尊氏が「地域福祉塾」についてそれぞれプログラム内容を紹介し、実践後の成果や課題等を発表されました。

グループ討議では、グループごとに各社協の取り組みを共有し、担当者として抱える悩みや課題、その解決に向けたヒントを話し合い、今後の福祉教育実践に向けて活発な意見交換が行われました。

地域の復興に向けた関係機関や社会資源との連携について考える

～地域支え合いセンター地域生活支援研修を開催～

1月10日(水)～11日(木)の2日間、ホテルエミナース熊本で地域生活支援研修を開催し、地域支え合いセンターの相談員や地域包括支援センターの生活支援コーディネーター等59名が参加しました。

1日目は、復興期における地域生活支援について、先災地である兵庫県淡路市社協の岩城和志氏、宮城県亘理町地域包括支援センターの佐藤寛子氏から講義があり、その後のグループワークでは、「支援における過去・現在・未来の課題」や「今後の支援に向けた気づき」等について検討を行いました。

2日目は、県内関係機関の支援者(ささえりあ帯山の芹川氏、御船町健康づくり支援課の西橋氏、発達障がい者支援センターわっふるの小平氏、障がい者相談支援センター青空の大島氏)から各機関における取り組みや事例について報告があり、今後の関係機関との連携について参加者と活発な意見交換が行われました。



【講師との意見交換】

今回の研修は、各機関の役割を理解するとともに、支援者同士が繋がるきっかけとなりました。

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆県民間退職共済への加入のご案内◆</p> <p>熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業は、県内の民間社会福祉事業を営む事業所(社会福祉法人)に勤務する職員の皆様の将来の生活安定を図ることを目的とした、加入者にとって大変有益な退職共済です。</p> <p>毎月加入を受け付けております。</p> <p>また、制度に加入している事業所間で転職した場合は、継続して加入できる場合があります。</p> <p>各種手続き及び事業内容については、総務課までお問い合わせください。</p>	<p>◆地域福祉コーディネーター養成講座のご案内◆</p> <p>地域におけるソーシャルワークの基礎的な技法と具体的な展開方法について学びます。</p> <p>日 時 1日目 2月28日(水) 10:00~16:00 2日目 3月1日(木) 10:00~15:30</p> <p>会 場 県総合福祉センター 研修ホール</p> <p>講 師 Nukiito 代表 高山 弘毅 氏</p> <p>対象者 市町村社協職員、市町村地域支え合いセンター主任生活支援相談員 等</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆第2回社会福祉法人労務研修会のご案内◆</p> <p>日 時 3月14日(水) 13:30~16:30</p> <p>会 場 KKRホテル熊本</p> <p>テーマ 「無期転換と処遇改善への対応(同一労働同一賃金など) ~法改正(労働契約法・パート労働法)~</p> <p>講 師 特定社会保険労務士 上田 吉勝 氏</p> <p>対象者 社会福祉法人の役員、施設長、事務担当者 他</p> <p>参加費 3,000円 定 員 250人</p> <p>※ 詳細は、別途送付の開催要項でご確認ください。</p>	<p>◆教育支援資金(就学支度費)の申込はお早めに◆</p> <p>本年4月に進学予定の方を対象として、就学に必要な経費(入学金、教材費、制服代等)を貸し付ける教育支援資金(就学支度費)の申込期限は、3月15日(水)本会必着となっています。</p> <p>志望校の可否が未発表の場合でも、受験校証明書での申込みができますので、お早めに市町村社協へご相談ください。</p> <p>詳しくは、民生課までお問い合わせください。</p>
福祉人材・研修センター	福祉サービス運営適正化委員会
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5471 / FAX 096-324-5456
<p>◆平成30年度も介護福祉士修学資金等貸付事業及び保育士修学資金貸付等事業を実施します◆</p> <p>平成30年度も福祉・介護・保育人材の育成、確保及び定着を図ることを目的に標記事業を実施します。</p> <p>具体的には、「介護福祉士修学資金等貸付」、「介護福祉士再就職準備金貸付」、「保育士修学資金貸付」、「保育士就職準備金貸付」、「未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付」、「保育補助者雇上費貸付」です。</p> <p>詳細については、本会ホームページを参照ください。</p> <p>※ 申請・受付は平成30年4月以降になります。</p>	<p>◆福祉サービス苦情解決事業</p> <p>「第三者委員」研修会のご案内◆</p> <p>日 時 2月22日(木) 14:00~</p> <p>会 場 KKRホテル熊本</p> <p>講 演 福祉サービスの提供と第三者委員の役割(仮)</p> <p>講 師 弁護士 森枝 大輔 氏</p> <p>事例発表 氷川学園 統括主任指導員 村山 智 氏 三気の里 施設長 木下 昭二 氏</p> <p>対象者 社会福祉施設(事業所)・社協等の第三者委員 他</p> <p>定 員 200名 (※申込締切2月9日)</p> <p>参加費 一人 1,000円</p>
ボランティアセンター	ご 案 内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	◆ ソウェルクラブ新規会員募集のご案内 ◆
<p>◆市町村ボランティアセンター機能強化研究会議のご案内◆</p> <p>「災害からの復旧・復興時における被災者支援及び平時からのNPO等ボランティア団体・行政・社協との連携について」</p> <p>日 時 2月14日(火) 10:20~</p> <p>会 場 KKRホテル熊本</p> <p>講 師 全社協、JVOAD、KVOAD</p> <p>事例発表 レスキューストックヤード、御船町、御船町社協</p> <p>対象者 市町村社協職員、地域支え合いセンター担当者他</p> <p>※ 定員に空きがありますので、ぜひご参加ください。</p> <p>詳細については、別途送付の開催要項をご覧ください。</p>	<p>ソウェルクラブでは、平成30年度の新規会員を募集しています。平成28年4月からは、有料老人ホームや医療系の介護保険施設・事業所など、社会福祉事業以外の介護保険事業所も加入対象となりました。</p> <p>加入いただくと、グルメイベントやミュージカル等の観劇・国内ツアーなどの会員交流事業に安価で参加でき、職員の福利厚生に役立ちます。</p> <p>サービスの詳細や新規加入につきましては、施設福祉課までお問い合わせください。</p>